

【資料4】

採点項目の評価基準

内外バランス		土踏まず処理	
0点	全く削蹄処置が行われてない	0点	土踏まずの処理が全く施されていない
1点～5点	内蹄と外蹄の高さが著しく相違し蹄の坐りが悪い	1点～3点	土踏まずの範囲や位置・形状が悪い
6点～9点	内蹄と外蹄の高さが相違し蹄の坐りが悪い	4点～5点	土踏まずの範囲や位置・形状が少し悪い
10点～14点	内蹄と外蹄の高さに少しの相違がある	7点～9点	土踏まずの範囲や位置・形状は良いが改善点がある
15点～19点	内蹄と外蹄のバランスはとれているが、一部の項目に改善点がある	10点	土踏まずの範囲や位置・形状が良くできていて改善点がない
20点	内蹄と外蹄の高さが合っていて蹄の坐りが良く蹄冠の形状に合った適切な削蹄ができている		
蹄の形状		削切量	
0点	全く削蹄処置が行われてない	0点	全く削蹄処置が行われてない
1点～3点	蹄の形状が著しく悪く蹄冠の形状に合っていない・内外蹄（縦・横径）の長さが著しく相違している	1点～3点	枯角が著しく残っており、副蹄の処置等もできていない
4点～6点	蹄の形状が著しく悪くはないもの	4点～6点	枯角除去不十分だが、副蹄の処置等の項目についてはできている
7点～9点	蹄の形状は良くできているが、一部の項目について改善点がある	7点～9点	削切量は適切であるが、一部の項目については改善点がある
10点	蹄の形状は良くできていて改善点がない	10点	削切量は適切であり蹄冠の形状に合った削蹄ができている
蹄負面の処理		蹄負縁の処理	
0点	全く削蹄処置が行われてない	0点	全く削蹄処置が行われてない
1点～3点	削蹄は行われているが、平坦性が全くない	1点～3点	端蹄廻しの角度や範囲が著しく悪く、粗落としのみ施している
4点～6点	平坦性は少しあるが、負面の幅が狭すぎたり広すぎたりしている	4点～6点	端蹄廻しの角度や範囲が悪い・鋭利な部分が残っている
7点～9点	平坦性はあるが、一部の項目に改善点がある	7点～9点	端蹄廻しの角度や範囲は適正であるが、一部の項目について改善点がある
10点	平坦性があり蹄冠の形状に合った適切な削蹄ができている	10点	端蹄廻しの角度や範囲は適正であり改善点がない

※このポイントについては、審査員の主観が多少入ってしまうことは免れない

※保護と矯正の処置については、各ポイントを加味した上で点数をつけること

※過削の場合は、過削減点とは別に該当する項目において点数に反映させること